

台風第30号 説明会



この資料は、10月23日14時時点の予想による説明資料です。最新の気象情報は、気象台ホームページから確認ください。

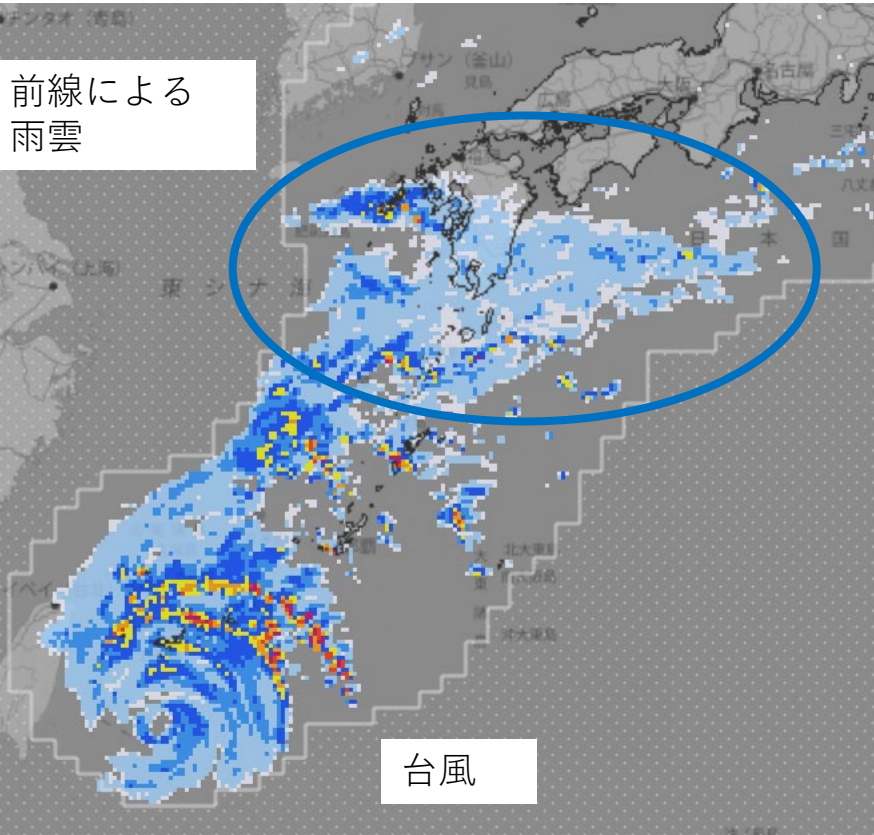
令和8年10月23日
高知地方気象台

高知県への影響 (23日14時現在)

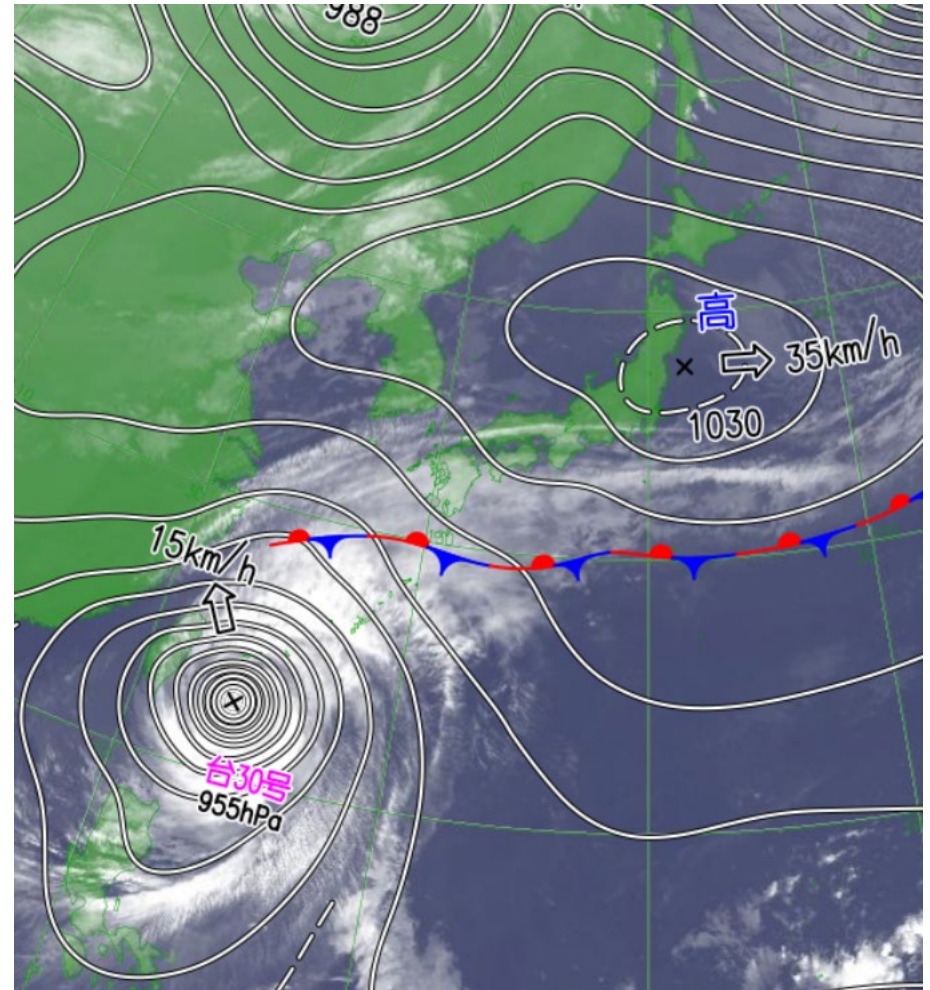
- ✓ 台風第30号は、26日夕方に高知県に最も接近する見込み。
- ✓ 南からの温かく湿った空気が台風の前面に流れ込む影響で、**雨のピークは台風最接近より前になる。**25日の夜から雨が強まり、**26日の前半を中心に大雨となり、総降水量は250ミリの予想。**
- ✓ 台風の進行速度の予想に不確実性があり、台風接近のタイミングが早まる可能性があり、**現象のピークは早まる可能性がある。**台風接近のタイミングが変わっても、降水量などの量的な見積もりは大きく変わらない見込み。
- ✓ **26日前半を中心に、低い土地の浸水や河川の増水、うねりを伴った高波に十分注意。強風や落雷に注意。**

地上天気図、気象衛星画像、レーダー合成図

雨雲の動き_23日09時



衛星画像（可視）+天気図_23日09時



※今夜の降水について
前線が次第に北上し、
南からの湿った空気の流入が強まる。特に東部の徳島県寄りの地域で
非常に激しい雨を見込むが、大雨警報となる可能性は低い。

台風第30号の進路予想

日時
中心気圧
最大風速

25日09時
990hPa
25m/s

24日09時
980hPa
30m/s

26日09時
996hPa
20m/s

23日21時
970hPa
35m/s

23日09時
955hPa
40m/s

23日09時現在

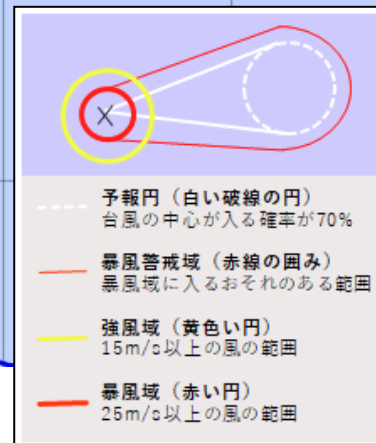
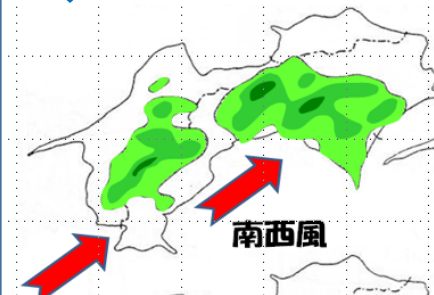
27日09時

27日09時
(温帯低気圧)
998hPa
18m/s

25日～26日頃



次第に



【早期注意情報（警報級の可能性）】

23日 11時現在

高知県の早期注意情報（警報級の可能性）											
2026年10月23日11時 高知地方气象台 発表											
中部では、25日までの期間内に〔高〕及び〔中〕はない。今後の情報に留意。											
東部では、25日までの期間内に〔高〕及び〔中〕はない。今後の情報に留意。											
西部では、25日までの期間内に〔高〕及び〔中〕はない。今後の情報に留意。											
高知県中部	23日		24日				25日		26日	27日	28日
警報級の可能性	12-18	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12	12-24			
大雨	-	-	-	-	-	-	-	-	[中]	-	-
土砂災害	-	-	-	-	-	-	-	-			
大雪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
暴風(雪)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
波浪	-	-	-	-	-	-	-	-	[中]	-	-
高潮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県東部	23日		24日				25日		26日	27日	28日
警報級の可能性	12-18	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12	12-24			
大雨	-	-	-	-	-	-	-	-	[中]	-	-
土砂災害	-	-	-	-	-	-	-	-			
大雪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
暴風(雪)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
波浪	-	-	-	-	-	-	-	-	[中]	-	-
高潮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県西部	23日		24日				25日		26日	27日	28日
警報級の可能性	12-18	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12	12-24			
大雨	-	-	-	-	-	-	-	-	[中]	-	-
土砂災害	-	-	-	-	-	-	-	-			
大雪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
暴風(雪)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
波浪	-	-	-	-	-	-	-	-	[中]	-	-
高潮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

			10/25 (日)				10/26 (月)			
			00-06	06-12	12-18	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24
線状降水帯										
台風最接近										
大雨 1時間最大 (ミリ)	中部		10	10	20	30	50	50	40	0
	東部		10	10	20	30	50	50	40	0
	西部		10	10	20	30	50	50	40	0
河川氾濫	物部川									
	仁淀川									
	四万十川									
土砂災害	中部									
	東部									
	西部									
雷										
強風・暴風 (メートル)	中部	陸上	8	8	8	12	13	13	12	12
		海上	10	10	10	15	18	18	15	15
	東部	陸上	8	8	8	12	13	13	12	12
		海上	10	10	10	15	18	18	15	15
	西部	陸上	8	8	8	12	13	13	12	12
		海上	10	10	10	15	18	18	15	15
波浪 うねりを伴う (メートル)	中部		3	3	3	3	5	5	5	4
	東部		3	3	3	3	5	5	5	4
	西部		3	3	3	4	5	5	5	4

期間を通しての総降水量は
全域：250ミリ
を見込む

レベル3大雨警報の
可能性あり

レベル2
土砂災害注意報の
可能性あり

竜巻付加の可能性

波浪警報の可能性あり

高知県への影響 (23日14時現在)

【再掲】

- ✓ 台風第30号は、26日夕方に高知県に最も接近する見込み。
- ✓ 南からの温かく湿った空気が台風の前面に流れ込む影響で、**雨のピークは台風最接近より前になる。**25日の夜から雨が強まり、**26日の前半を中心に大雨となり、総降水量は250ミリの予想。**
- ✓ 台風の進行速度の予想に不確実性があり、台風接近のタイミングが早まる可能性があり、**現象のピークは早まる可能性がある。**台風接近のタイミングが変わっても、降水量などの量的な見積もりは大きく変わらない見込み。
- ✓ **26日前半を中心に、低い土地の浸水や河川の増水、うねりを伴った高波に十分注意。強風や落雷に注意。**

台風の接近や大雨に備えて

- ✓ 大雨による土砂災害・洪水・低い土地の浸水をはじめ、自分のいる場所ではどのような災害が起こりやすいのかを
予めハザードマップ等で確認し、台風が近づく前に**早め早**
めの安全確保をお願いします。
- ✓ 海岸や増水した河川・用水路なども含め、**危険な場所**
には絶対に近づかないようお願いします。
- ✓ 気象台が発表する**警報・注意報など防災気象情報**に留
意するとともに、**市町村の避難情報**に注意してください。
- ✓ **今後の台風の進み方によっては状況が変わってきますの**
で、常に最新の情報を利用してください。

今後の予想を含めた最新の情報は、以下からご利用ください

台風情報

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=typhoon>

警報レベル相当情報・気象警報・注意報

https://www.jma.go.jp/bosai/warning/#lang=ja&area_type=offices&area_code=390000

指定河川洪水予報

https://www.jma.go.jp/bosai/flood/#area_type=offices&area_code=390000

キキクル

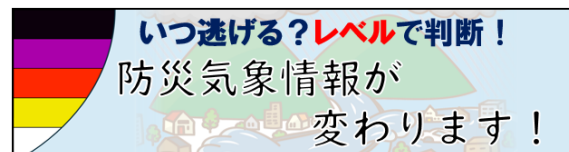
https://www.jma.go.jp/bosai/#area_type=offices&area_code=390000&pattern=rain_level

気象防災速報・気象解説情報

https://www.jma.go.jp/bosai/information/#area_type=offices&area_code=390000&format=table

その他の情報は、気象庁ホームページをご覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>



新しい防災気象情報（令和8年5月29日から運用開始）

- 防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表。**（例：レベル4大雨危険警報 等）

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水	（警戒レベルごとの） 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！> -----					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

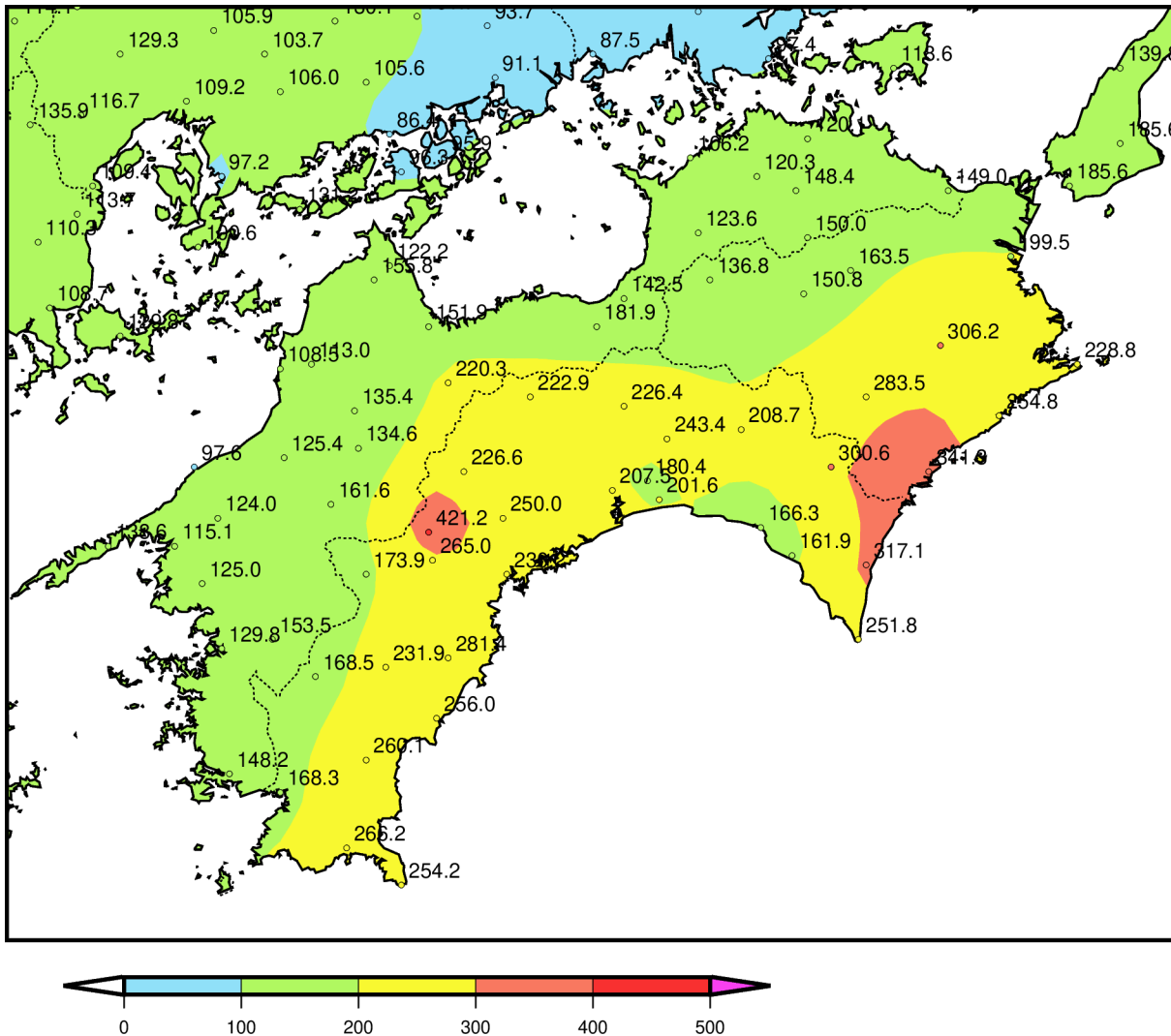
新しい防災気象情報の解説ページ

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/keiho-update2026/index.html>



以下、参考資料

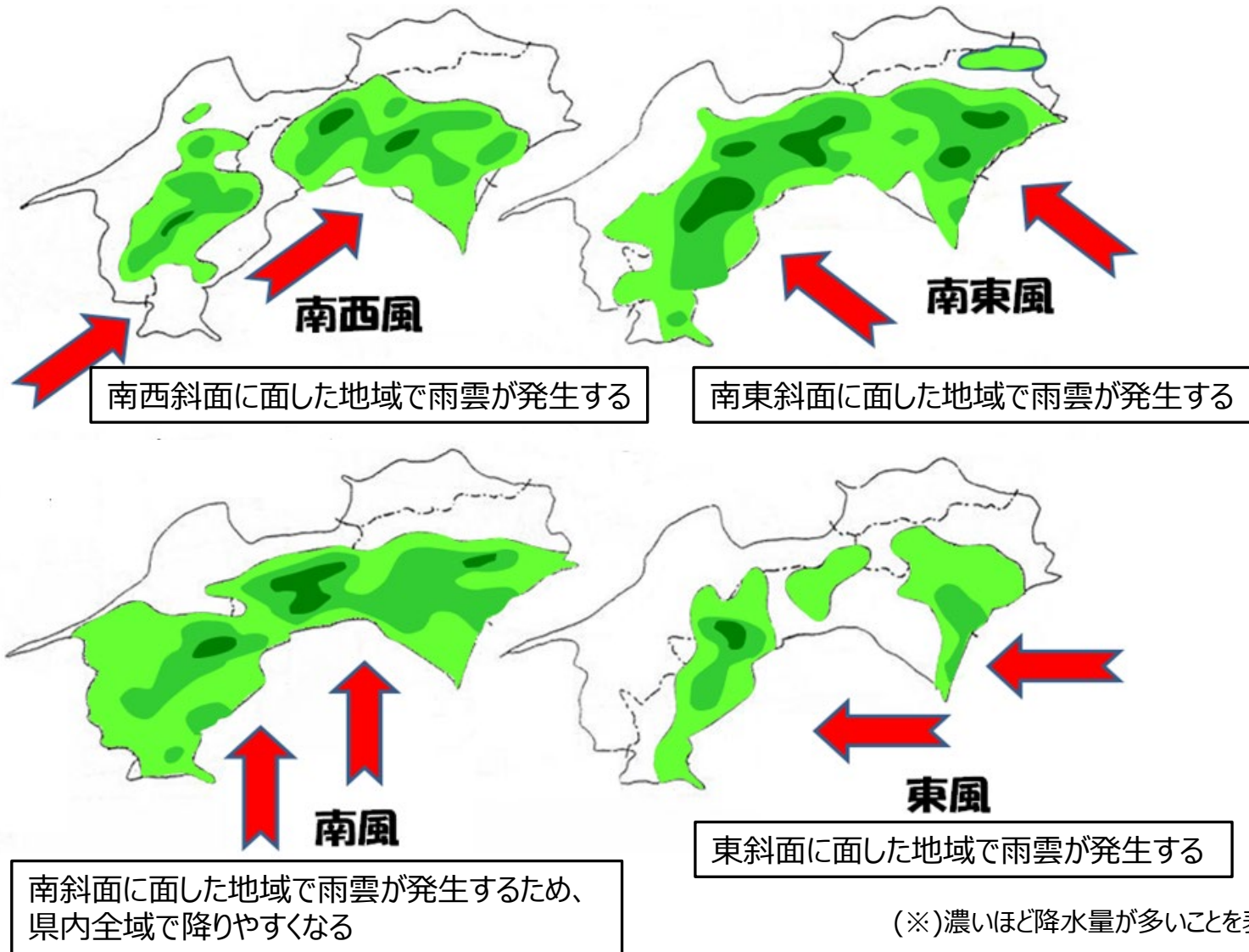
10月降水量の平年値



高知県の地域特性

参考資料

上空1000m風向別の降雨特性



段階的に発表される防災気象情報と対応する行動

参考資料

5段階の警戒レベルと防災気象情報

気象状況	気象庁等の情報		市町村の対応		住民がとるべき行動	警戒レベル
災害の切迫・発生	河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮 レベル5 特別警報	キキクル 災害切迫	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない		命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。 ・いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	5
＜警戒レベル4までに必ず避難！＞						
2時間～0時間程度前	レベル4 危険警報	危険	避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)		危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	4
数時間～3時間程度前	レベル3 警報	警戒	高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)		危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	3
半日～数時間前	レベル2 注意報	注意	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制) 第1次防災体制 (連絡要員を配置)		自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	2
数日～約1日前	早期注意情報 (警報級の可能性)		・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認		災害への心構えを高める	1

風の強さ

参考資料

平均風速 (m/s)	およその 時速	予報用語	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	およその 瞬間風速 (m/s)
10以上 15未満	～50km	やや強い 風	一般道路 の自動車	風に向って歩きにくくなる。傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。 電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける。	樋(とい)が揺れ始める。	20
15以上 20未満	～70km	強い風		風に向って歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。看板やトタン板が外れ始める。	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるものがある。雨戸やシャッターが揺れる。	
20以上 25未満	～90km	非常に強い風	高速道路 の自動車	何かにつかまってい ないと立っていられ ない。 飛来物によって負傷 するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。 看板が落下・飛散する。 道路標識が傾く。	通常ので速度で 運転するのが 困難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。 固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。ビニールハウスのフィルム(被覆材)が広範囲に破れる。	30
25以上 30未満	～110km							
30以上 35未満	～125km	猛烈な風	特急電車	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。 電柱や街灯で倒れるものがある。 ブロック壁で倒壊するものがある。	走行中のトラックが横転する。	固定の不十分な金属屋根の葺材がめくれる。 養生の不十分な仮設足場が崩落する。	40
35以上 40未満	～140km						外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。	
40以上	140km～						住家で倒壊するものがある。 鉄骨構造物で変形するものがある。	60

雨の強さ

参考資料

雨の強さと降り方

(平成12年8月作成)、(平成14年1月一部改正)、(平成29年3月一部改正)、(平成29年9月一部改正)

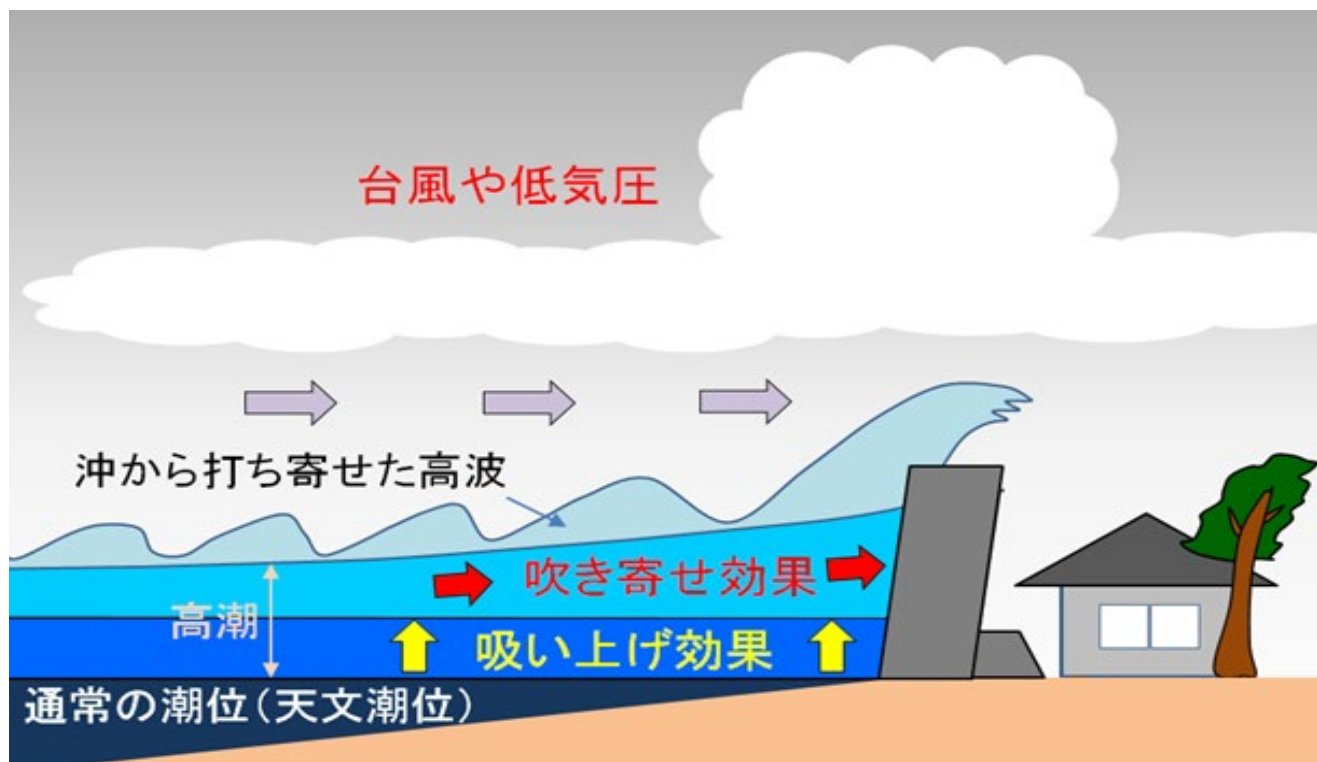
1時間雨量 (mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10以上～ 20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる	
20以上～ 30未満	強い雨	どしゃ降り				ワイパーを速くしても見づらい
30以上～ 50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	傘をさしていてもぬれる	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく	道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)
50以上～ 80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)			水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる	傘は全く役に立たなくなる			

高潮の要因

参考資料

台風による

- ①気圧低下により海面が吸い上げられるように上昇する（吸い上げ効果）
 - ②風により海水が海岸に吹き寄せられる（吹き寄せ効果）
 - ③波浪による海面の上昇（波浪効果）
- ①～③の相乗効果により高潮の可能性が高くなります。
特に台風の進行方向の右側では風も強くなり、海面の上昇が起きやすく、特にV字型の湾では奥に行くほど海面上昇が助長されます。



防災気象情報に用いる時間細分の用語

参考資料

天気予報では、1日を3時間ごとに区切って、表現しています。

時間帯	一日の時間細分		
00:00～03:00	未明	午前中	
03:00～06:00	明け方		
06:00～09:00	朝		
09:00～12:00	昼前	午後	日中
12:00～15:00	昼過ぎ		
15:00～18:00	夕方		夜
18:00～21:00	夜のはじめ頃		
21:00～24:00	夜遅く		